

小学生のみなさんへ

夏休みオススメの本！

夏休みの宿題でよくある読書感想文、とても大変ですね。図書館にある子どもの本から「読みやすそうな本」を選んでみました。本選びのご参考にどうぞ！

本の題名

にひきのいたずらこやぎ(おはなしみーつけた!シリーズ)

松居 スーザン/作 佼成出版社 2013.9 1ねんせい～

著者、作者 出版社 出版した年と月 対象学年(目安とお考えください)

にひきのいたずらこやぎ(おはなしみーつけた!シリーズ)

松居 スーザン/作 佼成出版社 2013.9 1ねんせい～

こやぎのハイジとペーターが、まちなかでにげだしました。あっちこっちをにげまわる2ひきに、まちなかでもてんこまです。まちなかからやまへにげたところによろこびになってしまいます。こころぼそくなった2ひきはだいじょうぶでしょうか？いたずらもののこやぎですが、とてもかわいいですよ。

書誌 ID<0012809302>

ビーズのてんとうむし

最上 一平/作 童心社 2005.7 1ねんせい～

みかほは、いつも、いっしょにがっこうにいぐまに、いっしょけんめいつくったビーズのてんとうむしをとりあげられてしまいます。けれども、みかほはまりあのこときらいになれません。そんなあひ、よりみちしているところのいぬがいなくなってしまうことにきづきます。まりあのかもちをかんがえながらよむと、よりのしめします。

書誌 ID<0011021189>

クシャラひめ(やなせたかしメルヘン図書館)

やなせ たかし/作・絵 フレーベル館 2013.8 1ねんせい～

じぶんのかおをみて、いやだなあとおもうことありますか。このおはなしにでてくるクシャラひめは、じぶんのはながひくいとおもっていて、いつもはなをかくしていました。けど、はながたかいとか、ひくいとかは、そのひとがいいひとかどうかにはかんけいがありませんよね。

書誌 ID<0012784816>

ウーちゃんケロちゃんのじてんしゃっていいやつだ!(おはなしカーニバル 23)

マティアス・ゾトケ/作 偕成社 1997.9 1ねんせい～

うさぎのウーちゃんとかえるのケロちゃんはとてもなかよし。あるひ、ひろつたじてんしゃをなoshiteのろうとしますが、ケロちゃんほうまくのれずにドテンとこけてしまいます。いじけたケロちゃんのためにウーちゃんがやったことはなんでしょう。 書誌 ID<0000631107>

まほうつかいをやっつけろ!(おはなしカーニバル 5)

大友 康夫/作 絵 偕成社 1994.7 1ねんせい～

のねずみのハリーのいとこが、まほうつかいのくろねこにさらわれた!ひきがえるのヘンリーとハリーは、ききゆうにのって、いとこをたすけにいきます。けど、ねずみとかえるがどうやったらねこにかてるでしょう?ちからのよわいかれらはちえでたたかいます。 書誌 ID<0000400645>

シッブ船長とくじら

かどの えいこ/さく 偕成社 2008.1 1ねんせい～

こどもにいじをはったおかげでクジラつりのえさになることになった船長^{せんちょう}さん。はたしてどうなるでしょう?いいことがあっても、じまんばかりしていたらいいけませんというおはなしです。

書誌 ID<0011746003>

おなべがにげた

加来 安代/作 文化出版局 1993.9 1ねんせい～

ムっちゃんのいえはあたらしいおなべをかったので、ふるいおなべをすてようとした。ところがおなべたちはすてられるのがいやだとまちをにげまわります。そんななべたちはどこにいくのでしょうか。なべたちがまちをはしりまわるところがとてもたのしいおはなしです。

書誌 ID<0000336876>

もぐらくんちへようこそ!(WAKUWAKU 童話館)

バーニー・ボス/文 ほるぷ出版 1997.3 1ねんせい～

もぐらくんちはおとうさんとおかあさん、ふたごのモナとマリウス、おばあちゃんの5にんかぞくです。いつもげんきでなかがいいこのかぞくのくらしをえがきます。まいにちがこのものがたりみたいだったらいなとおもえるほんです。

書誌 ID<0000601910>

うさぎがいっぱい(ゆかいなゆかいなおはなし)

ペギー・パリシュ/ぶん 大日本図書 2011.1 1ねんせい～

モリーおばさんのところにウサギがやってきました。ちょっとせわをするだけのつもりだったのに、たちまちのうちにウサギはふえていきます。ちいさいうちはかわいいけど、おおきくなってきたウサギたちにおばさんはてんでこまいです。さあ、どうなるでしょう。 書誌 ID<0012385691>

郵便屋さんの話(チャペック童話絵本シリーズ)

カレル・チャペック/作 フェリシモ 2008.3 1ねんせい～

郵便屋ゆうびんやさんのおしごとにうざりしていたコルババさん。よるのゆうびんきょくでであったようせいたちのちからをかりて、あてのないラブレターをとどけにあちこちをあるきまわります。ちよつとトボケて、それがおかしくて、とてもやさしいおはなしです。 書誌 ID<0011612459>

うらやましやゆうれい(おはなしドロップシリーズ)

荻田 澄子/さく 佼成出版社 2010.1 1ねんせい～

ひとのものをうらやましがってはとつていく「うらやましやゆうれい」。いえにあるものをみんなとられてしまったはつあんおやはどうしたでしょうか？このおはなしのゆうれいみたいに、うらやましがらだけじゃしかたがないですね。 書誌 ID<0012160647>

からすのカーさんへびたいじ

オールダス・ハクスリー/文 富山房 1988.12 1ねんせい～

たまごをうんではへびにたべられてしまうカラスのふうふが、フクロウのちえをかりてへびをやっつけます。さて、どんなほうほうでやっつけるのでしょうか。 書誌 ID<0070008555>

ライオンがいないどうぶつ園

フレート・ロドリアン/作 徳間書店 2012.4 2年生～

ライオンのいないどうぶつえんにライオンをつれてくるため、みなさんにできることはなんでしょうか？このお話に出てくる人たちはみんな、子どもたちも町長ちやうちやうさんも、とてもすてきな人たちばかりで、どうぶつえんにライオンをつれてくるため、いっしょうけんめいがんばります。

書誌 ID<0012498192>

おもちゃ屋のクイロー

ジェームズ・サーバー/さく 福音館書店 1996.11 2年生～

あるまちに、とてもつよい大男がやってきました。ひどいことをされるのではとまちの人がびくびくするなか、ちびのおもちゃやクイローは大男のもとにみずから出ていきます。さあ、どんなやり方でやっつけるのでしょうか。 書誌 ID<0000581079>

ジャムおじやま

マーガレット・マーヒー/文 徳間書店 1998.1 2年生～

ある日、にわの木からプラムがおちてきたので、パパはジャムをつくることにしました。プラムはどんどんおちてくるので、ジャムもどんどんふえていきます。ジャムはおいしそうだし、こんなおうちのはたのしそうだけど、ちよつとこわい？ かもしれません。 書誌 ID<0000703523>

ワビシーネ農場のふしぎなガチョウ

ディック・キング=スミス/作 あすなろ書房 2007.9 2年生～

「わびしい」ということばがあります。まずしくてあわれ、といういみです。これは「ワビシーネ農場^{のうじょう}」というところのおはなしです。名まえのとおり、わびしい農場^{のうじょう}なのですが、ある日、この農場^{のうじょう}に金のガチョウが生まれました。こんなガチョウがうちにくるといいな、とおもってしまいますよ。

書誌 ID<0011493318>

くつなおしの店(世界傑作童話シリーズ)

アリスン・アトリー/さく 福音館書店 2000.6 2年生～

くつをなおすおしごとをしているニコラスじいさん。あまったかわでにんぎょうのクツをつくったら、それがあつた人たちのお気に入りになりました。ちょっとほっこりするおとぎばなしです。

書誌 ID<0000809244>

こぶたくん(こぶたくんのおはなしシリーズ 1)

ジーン・バン・ルーワン/さく 童話館出版 1995.12 2年生～

こぶたくんにはいもうとが1人。あとおとうさんとおかあさん。おもちゃのとりあいをしたり、あそびにきたおばあちゃんのおもてなしをしたり。おかあさんの気もちになってみたり、いもうとの気もちになってみたりしてよむと、あたらしいはっけんがあるかもしれません。

書誌 ID<0000503655>

番ねずみのヤカちゃん(世界傑作童話シリーズ)

リチャード・ウィルバー/さく 福音館書店 1992.5 2年生～

人のいえにすんでいるネズミというのは、しずかに、ひっそりとくらさないといけないものですが、このおはなしにでてくるヤカちゃんは大きなこえを出す子なのです。そんなネズミがすみつたいえはどうなるでしょう？

書誌 ID<0000263444>

ぼくらのムササビ大作戦

深山 さくら/作 国土社 2011.7 3年生～

いえの近くでムササビを見かけた友樹^{ともき}と達也^{たつや}は、ムササビの通り道になっている大木^{たいぼく}が切られてしまうことを知り、ムササビを助ける^{たす}ためになんとかできないか、知恵^{ちえ}をしぼります。子どもたちの行動力^{こうどうりょく}におどろかされますよ。

書誌 ID<0012331888>

なんでも屋はじめます(ものがたりのもり)

正道 かほる/作 フレーベル館 2001.5 3年生～

ヨースケ君^{くん}は、おじいちゃんがのこしてくれた赤いクルマを修理^{しゅうり}しながら、なんでも屋^やをやっています。このなんでも屋さん^やに持ちこまれるお仕事は、ときどき風変わりなものもあるみたいです。こ

んなくらしができたなら楽しいだろうなと思わされるおとぎ話です。 書誌 ID<0010077005>

元気なポケット人形(せかいのどうわシリーズ)

ルーマー・ゴッデン/作 岩波書店 1991.11 3年生～

ポケットに入るくらいの小さな人形。彼女は自分のことを「小鬼のジェイン」とよびます。いろんなぼうけんをしたいと思うジェインですが、むかしむかしに女の子の家に買われてから、ずっと人形の家からでることはありませんでした。けれども、ある日、そんな彼女を外の世界につれ出してくれる人があらわれます。 書誌 ID<0000242169>

おにいちゃんは世界一

ウルフ・スタルク/作 徳間書店 2002.5 3年生～

このお話には兄弟がでできます。弟はお兄ちゃんのことを大好きで、お兄ちゃんも弟のことが大好きです。けど、お兄ちゃんは弟といっしょにいてばかりではられません。お兄ちゃんがよせる弟への気持ちと、それにこたえる弟の気持ちがどこまでもやさしい物語です。

書誌 ID<0010304285>

アンナのうちはいつもにぎやか -アンナ・ハイビスカスのお話-

アティヌーケ/作 徳間書店 2012.7 3年生～

アフリカの女の子、アンナはお父さん、お母さんに弟たちのほか、たくさんの親せきにかこまれてくらしています。たまにかぞくだけで旅行にいても、さびしいし、しんどいだけ。日本とはぜんぜんちがうアフリカでのくらしも知ることができます。 書誌 ID<0012555854>

マドレーヌは小さな名コック

ルパート・キングフィッシャー/作 徳間書店 2012.9 3年生～

パリにあるおじさんのレストランではたらくマドレーヌ。けれども意地悪なおじさんはマドレーヌの料理のうでをやっかんで、さらあらいばかりさせています。そんなある日、ふしぎな食料品店にまよいこんだマドレーヌは、一人の女性とネコに出会います。マドレーヌの料理をしたい、という気持ちがとてもよくわかる本です。 書誌 ID<0012588736>

ヘビとトカゲきょうからともだち

ジョイ・カウリー/作 アリス館 2011.4 3年生～

さばくのまんなかで知り合ったヘビとトカゲ。ニひきはいっしょにくらしはじめます。言いあらそいもしよっちゅうするけど、なかよしのニひきのくらしはとても楽しそうです。ちょっととぼけた味のあるお話。 書誌 ID<0012293816>

ソラマメばあさんをおいかけろ

たかどの ほうこ/作 文化出版局 2000.11 3年生～

タンタくんがさいばいしようとしていたソラマメ。いつの間にかどこかへいっちゃったのだけど、どういわけかおばさんになってまちで買いものしているところを見つけてしまう。ソラマメおばさんをおいかけていくうちに、タンタとお姉ちゃん(あな)は野菜(やさい)のまちについてしまう。はたしてソラマメをつれて帰ることができるかな。

書誌 ID<0000835373>

きつねのおまもり

大谷 千晴/作 刈谷市 2005.1 3年生～

たとえば、あなたが学校に行ってふでばこを開けると、そこに小さなキツネ(あ)がいたらどうします？ しかもそのキツネ。ほかの人にはみえなくて、いろんないたずらをするんです。けど、それって悪いことばかりじゃなさそうです。

書誌 ID<0011087205>

洲本八だぬきものがたり

木戸内 福美/文 アリス館 2002.8 3年生～

大阪に近い淡路島(あわじしま)には、タヌキにまつわるお話がたくさんあります。これはそのお話をあつめたもの。人はだますけどにくめないタヌキたちが、とてもいきいきしています。

書誌 ID<0010350027>

ワニてんやわんや

ロレンス・イエップ/作 徳間書店 2004.1 4年生～

大切なものを亡くしてしまって、悲しい思いをしたことがある人は多いと思います。それでは、家族が悲しい思いをしていたら、どうしたいのでしょうか。この本を読むと、そんなことを考えさせられます。大事なものってワニなんですけどね。

書誌 ID<0010682683>

ヒコーキざむらい(おはなしのたからばこ 9)

今江 祥智/文 フェリシモ 2009.9 4年生～

昔、飛行機(ひこうき)にのったおさむらいさんがいました。仲間(なかま)のさむらいがこわがってだれも乗らなかつたなか、彼(かれ)を乗せた飛行機(ひこうき)は3m だけ飛びました。たったの3m でした。けれども、その子どもや、ひ孫たちにとって、それはとても大きな意味をもつものだったのです。どんなことなのでしょう？ 読んだあとにいろいろ考えさせられます。

書誌 ID<0011937321>

大阪ずしひみつの大作戦

北 ふうこ/作 汐文社 2002.12 4年生～

大阪名物といえば、たこ(た)焼き、お好み焼き(や)焼き。けど、おすしもあるんですよ。おすし屋さんの家のゆうや君は、アメリカ人の先生のおかげで「大阪ずし」というものがあることを知ります。けれどもお父

さんはあまり「大阪ずし」が好きではなさそう。おすし屋さんもつがなくていいと言うし。それはどうしてか、考えながら読むのも面白いですよ。 書誌 ID<0010435023>

うちへ帰れなくなったパパ

ラグンヒルド・ニルスツン/作 徳間書店 1995.9 4年生～

このお話はおとうさんが主人公。この人、仕事に出かけたあと、自分の家に帰れなくなってしまいます。どうしてそうなったのか、2つの理由があります。ひとつは家の住所がわからなかったから。もうひとつは、なんでしょうね？ 書誌 ID<0000477487>

マクブルームさんのすてきな畑(あかね世界の文学シリーズ)

S.フライシュマン/作 あかね書房 1994.12 4年生～

子だくさんのマクブルームさんが流れ流れてたどり着いたのは野菜がすぐに育つゆたかな畑。ところが、畑をねらう悪いおじさんや大嵐、イナゴの大群がやってきます。アメリカのお話ですが、大阪弁で書かれていて、そのノリがとても楽しいお話。読むと「こんなくらし、してみたい！」って思いかもですよ。 書誌 ID<0000426026>

戦争ゲーム

マイケル・フォアマン/著 あすなろ書房 1995.7 4年生～

第一次世界大戦。サッカーに明けくれる青年たちが“冒険”をもとめて最前線にやってきた。はじめの想いとはうらはらに地獄のような戦場で恐怖にうちのめされる主人公。そんな彼らが向かいあった敵たちは自分たちと同じような若者たちだった。 書誌 ID<0000459656>

妖怪一家九十九さん([妖怪一家九十九さん] [1])

富安 陽子/作 理論社 2012.1 4年生～

妖怪たちが気ままにくらしていた森に、人間が町を作りました。やれやれ仕方がないと、妖怪たちは人間の作った団地でくらすことにします。ちょっとトボケていて、少し不気味な妖怪一家の楽しい日常を描きます。怖い話じゃないのでご安心を。 書誌 ID<0012436299>

バティストさんとハンガーブルグ=ハンガーブルグ伯爵のおはなし

ルドウィッヒ・ベームルマンズ/作 BL出版 2012.1 4年生～

とても真面目な執事のバティストさんは、ハンガーブルグ=ハンガーブルグ伯爵のもとではたらくことになります。ところがこの伯爵が、いろいろなものの「名前」をどンドンと変えていきます。身近なものの名前を変えるとどんな風になるでしょう？このお話のおしまいは大笑いできるかもしれません。 書誌 ID<0012439520>

ここからどこかへ(カドカワ学芸児童名作)

谷川 俊太郎/文 角川グループパブリッシング(発売) 2010.7 5年生～

ぺったくんはこわがりだけど、おばけに会おうと決心します。そうして出会ったいろいろなおばけ。おばけたちとぺったくんの話は、なんとなく暮らしていたら気付かない、大切なようなそうでもないような何かでいっぱいです。

書誌 ID<0012116808>

プレゼント

おとたけ ひろただ/ぶん 中央法規出版 2000.3 5年生～

手と足がほとんどないユウタと、彼の通う6年3組のクラスの友達や先生。みんなと同じようにしたいと思うユウタの気持ちと、それを受け止めるみんなの気持ち、それぞれの気持ちを追いかけて読んでみてはいかがでしょうか。

書誌 ID<0000791098>

モーツァルトはおことわり

マイケル・モーパーゴ/作 岩崎書店 2010.7 5年生～

かく隠しておきたい出来事、^{わす}忘れてしまいたい思い出、大なり小なりみなさんにもあることと思います。このお話にでてくる人たちは、みんな^{ひみつ}秘密を持っています。それを人に打ち明けるということは、どんなことなのでしょうね。

書誌 ID<0012116715>

大阪市立住之江図書館

〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋 3-1-20

(図書館は3階 1階:老人福祉センター、2階:住之江会館)

電話 06-6683-2788

FAX 06-6683-8840

<http://www.oml.city.osaka.lg.jp/>